

LION

保存用

トレー方式重要物管理装置 セキュリティトレー

SecurityTray

取扱説明書

—初版—

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、トレー方式重要物管理装置 セキュリティトレーをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は大切に保存してください。



はじめに

このたびは、トレー方式重要物管理装置 セキュリティトレー<Security Tray>をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は大切に保存してください。

個人情報の漏洩防止やセキュリティ確保・悪用防止のため、弊社においては設計から生産に至るまで技術・装置が流出しないよう厳重に管理しております。お客様においても納入時から廃棄に至るまで技術・装置が流出しないよう厳重に管理していただくようお願い申し上げます。

また、本装置を廃棄する場合は、破碎等の方法により装置機能を消滅させてから廃棄するよう、お願い申し上げます。

● 使用許諾契約

個人情報の漏洩防止、セキュリティ確保、悪用防止などの観点から、お客様が本装置を使用するにあたっては、下記の使用契約の内容を承諾していただきます。

● 脆弱性評価、精度評価、その他評価の実施

(使用条件)

- 本装置および添付ソフトの全部または一部を、所定の取扱説明書に従って稼働させる以外の目的で使用してはならず、また本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部にアクセスしてはならないものとします。
- 本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部を、逆アセンブルまたは逆コンパイルしてはならないものとします。
- 本装置および添付ソフトのプログラムの全部または一部を、リバースエンジニアリングしてはならないものとします。
- 開示目的での脆弱性評価、精度評価、その他評価の実施は第三者への委託および第三者を含めた評価は実施しないものとします。

● 脆弱性評価、精度評価、その他評価の結果の第三者への公表・開示

脆弱性評価、精度評価、その他評価の項目、内容、結果などの評価にかかわる情報を第三者に開示してはならないものとします。

● 損害賠償の請求

本契約に関してお客様との間で疑義または争いが生じた場合は、誠意を持って協議し、できる限り円満に解決することとしますが、その解決のために訴訟手続きなどの申し立てを行う場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として処理するものとします。

本契約は、日本国法に準拠し、同法に従って解釈されるものとします。

● 注意事項について

本取扱説明書の内容の全部または一部を、無断で転載あるいは引用、複写することは禁止されています。

本取扱説明書の内容については、予告なく変更することがあります。プログラム及び取扱説明書の最新版がリリースされている可能性がございますので、当社 HP (下記参照) をご確認ください。

<http://www.lion-jimuki.co.jp/download/>

本取扱説明書の内容について、万が一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、お買い求め先へご連絡いただきますようお願いいたします。

● 免責事項について

- 地震、火災、水害、落雷、その他天災地変などの不可抗力的事故による、故障、損傷、第三者による行為、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化、焼失、事業の中断など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 記憶装置（内部メモリ、メモリカードなど）に記載された内容は、故意や障害に関わらず保証いたしません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書に記載されている内容は、弊社製品を使用した場合の代表的な例示を示すものであり、本取扱説明書によって工業所有権、その他権利の実現に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。本装置を使用したことにより、第三者と工業所有権に関する問題が発生した場合、弊社は一切その責任を負いません。

● 輸出規制について

本装置を輸出される場合は、外国為替および外国貿易法、ならびに米国の輸出関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

● 電波障害防止について

本装置は、家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。


● 登録商標について




この取扱説明書中に記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

安全にお取り扱いいただくために

● シンボル表記

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは、安全注意シンボルと、「危険」、「警告」、「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

| | |
|---|---|
|  | これは安全注意シンボルです。 人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる障害を回避するために、このシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。 |
|---|---|

| | |
|---|--|
|  危険 | 死亡または重大な障害を引き起こす可能性が高い、さし迫った危険の存在を示すのに用います。 |
|  警告 | 死亡または重大な障害を引き起こすかもしれない、潜在的な危険の存在を示すのに用います。 |
|  注意 | 比較的軽度の障害を引き起こすおそれのある、潜在的な危険の存在を示すのに用います。 また、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害やデータの損害を引き起こすおそれのある、潜在的な危険の存在を示すのに用います。 |


● 安全に関する注意事項

以下に記載されている注意事項をよく読み、十分理解してからご使用ください。

- 本装置の操作は、本取扱説明書に記載されている指示、手順にて行ってください。
- 本装置や本取扱説明書に表示されている注意事項は、特に注意を払い、必ず守ってください。これを怠ると人身上の危害を引き起こすおそれがあります。
- 本取扱説明書に記載されていない操作は行わないでください。本装置について何か問題がある場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。
- 本装置や本取扱説明書に記載されている注意事項は、十分に検討されたものですが、それでも予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作や作業にあたっては、指示に従うだけでなく、お客様自身でも注意するようにしてください。

● 本装置に関する注意事項

本装置に関する注意事項を示します。

|  警告 | |
|---|--|
| ● 分解・改造・修理は絶対に行わないでください。 本装置および付属品は絶対に分解・改造・修理しないでください。感電や火災の原因となります。 | |
| ● 異常（発熱、煙、異常音、異臭）が発生したらすぐに使用を中止してください。 使用中に万が一異常（発熱、煙、異常音、異臭）が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。 | |
| ● 異物（金属片、水、液体など）が装置内部へ入った場合は、すぐに使用を中止してください。 使用中に万が一異物（金属片、水、液体など）が装置内部に入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。 | |
| ● 本取扱説明書に指定されている電源以外は使用しないでください。 本取扱説明書に指定されている電源（AC100V、50/60Hz）以外は使用しないでください。指定以外の電源を使用すると、感電や火災の原因となります。 | |
| ● 電源ケーブルは付属品をご使用ください。 電源ケーブルは必ず付属品をご使用ください。それ以外のものを使用すると感電や火災の原因となります。 | |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> アース線ネジ止め端子付の2極コンセントを使用してください。 電源ケーブルを接続するコンセントは、アース線ネジ止め端子付の2極コンセントを使用してください。そのほかのコードやコンセントを使用すると、感電や火災の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルを傷つけないでください。 電源ケーブルを傷つけないでください。また、傷のあるケーブルは使用しないでください。感電や火災の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で取り扱わないでください。 本装置を濡れた手で取り扱わないでください。感電の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 本取扱説明書で指示されている以外の扉、カバーは動かさないでください。 本取扱説明書で指示されている以外の扉、カバーは動かしたり、取り外したりしないでください。電源の高電圧に触れて感電の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 装置の上に物を置かないでください。 本装置の上に、花瓶、植木鉢、水の入った容器や、虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。装置内部に異物が入り、感電や火災の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源をいれたまま背面カバーを開けないで下さい。 背面カバーを開く際には電源スイッチをOFFにして電源ケーブルを抜いてから行ってください。電源の高電圧に触れて感電の原因となります。 |

 **注意**

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 落下などによる衝撃を与えないでください。 落下させたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。装置が破損するなどして、感電や火災の原因となるおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 温度差が大きい移動をした場合は、使用する場所で数時間放置してからご使用ください。 低温から高温の場所への移動など、温度差が大きい移動をした場合は、表面や内部で結露することがあります。このような状態で使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。使用する場所で数時間そのまま放置してからご使用ください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 水分・湿気やほこりの多い場所では、保管・使用しないでください。 水分・湿気やほこりの多い場所での、保管や使用はしないでください。感電や火災の原因となるおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に置かないでください。 傾斜のある場所や狭い場所など、不安定な場所には置かないでください。装置が転倒したり、落下したりするなどして、けがの原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 装置を移動させるときや、扉を取り外すときは、両手で支えてください。 装置を移動させるときや、扉を取り外すときは、両手で支えて移動または取り外してください。片手で取り外したりすると、扉が落下したりするなどして、けがの原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 屋外で使用しないでください。 屋外では使用しないでください。感電や火災の原因となるおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 目的用途以外に使用しないでください。 踏み台にするなど、目的用途以外に使用しないでください。装置が転倒したり破損したりするなどして、けがの原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> タコ足配線はしないでください。 同じコンセントに、多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。火災の原因となるおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。 電源プラグをコンセントに差し込むときは、ほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかりと差し込んでください。電源プラグとコンセントとの間にほこりが付着すると、火災の原因となるおそれがあります。また、長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 |

目次

| | | |
|----------|---------------------------------|-----------|
| 1 | ご使用になる前に | 5 |
| 1.1 | 製品概要..... | 5 |
| 1.2 | 各部の名称..... | 6 |
| 2 | 導入準備 | 8 |
| 2.1 | 同梱品の確認..... | 8 |
| 2.2 | 準備しておくこと..... | 9 |
| 3 | 導入 | 10 |
| 3.1 | 導入の流れ..... | 10 |
| 3.2 | 設置する..... | 10 |
| 3.3 | 電源を入れる..... | 11 |
| 3.4 | 時計を設定する..... | 12 |
| 3.5 | 管理者を登録する..... | 12 |
| 3.6 | 装置 ID を設定する【複数台使用する場合】..... | 14 |
| 3.7 | ネットワーク設定をする【ネットワーク接続をする場合】..... | 15 |
| 3.8 | トレーの共有可否を設定する..... | 17 |
| 3.9 | グループ設定をする【グループでの運用をする場合】..... | 18 |
| 4 | 基本操作 | 20 |
| 4.1 | セキュリティトレーの利用方法..... | 20 |
| 4.2 | ユーザ認証方法【管理者・一般ユーザの場合】..... | 21 |
| 4.2.1 | カードによる認証..... | 21 |
| 4.2.2 | ユーザ ID+カードによる認証..... | 22 |
| 4.2.3 | ユーザ ID+パスワードによる認証..... | 23 |
| 4.2.4 | カード+パスワードによる認証..... | 24 |
| 4.2.5 | カード+ユーザ ID+パスワードによる認証..... | 24 |
| 5 | ユーザデータの管理 | 26 |
| 5.1 | ユーザデータを登録する..... | 26 |
| 5.1.1 | ユーザデータを個別に登録する..... | 26 |
| 5.1.2 | ユーザデータを一括で登録する..... | 29 |
| 5.2 | 仮登録ユーザを本登録する..... | 32 |
| 5.3 | ユーザデータを表示する..... | 34 |
| 5.4 | ユーザデータを変更する..... | 35 |
| 5.4.1 | 共通操作..... | 35 |
| 5.4.2 | カードを変更する..... | 37 |
| 5.4.3 | パスワードを変更する..... | 37 |
| 5.4.4 | 対応トレーNo.を変更する..... | 38 |
| 5.5 | ユーザデータを削除する..... | 39 |

| | | |
|----------|----------------------------|-----------|
| 5.6 | ユーザデータを退避する | 40 |
| 5.7 | ユーザデータを復旧する | 42 |
| 6 | トレーの管理 | 45 |
| 6.1 | トレーのロックを解除する | 45 |
| 6.1.1 | 共通操作 | 45 |
| 6.1.2 | すべてのトレーのロックを解除する | 46 |
| 6.1.3 | 個別のトレーを解除する | 47 |
| 6.2 | トレーを利用停止にする | 47 |
| 7 | 装置の設定 | 49 |
| 7.1 | ユーザ認証の中止時間を設定する | 49 |
| 7.2 | 時計を表示させる | 50 |
| 7.3 | パスワードの再確認の有無を設定する | 52 |
| 7.4 | 時計を変更する | 53 |
| 7.5 | タッチパネルを設定する | 54 |
| 7.6 | 各操作のタイマーを設定する | 55 |
| 7.6.1 | 共通操作 | 55 |
| 7.6.2 | メッセージ表示時間の設定 | 56 |
| 7.6.3 | 認証前の未操作タイマーの設定 | 57 |
| 7.6.4 | 管理者メニューの未操作タイマーの設定 | 58 |
| 7.6.5 | トレーの自動ロックタイマーの設定 | 59 |
| 7.6.6 | 起動時エラー警告の時間の設定 | 60 |
| 7.6.7 | トレー異常の際の LED 点滅間隔の設定 | 61 |
| 7.6.8 | 待機画面状態での画面オフタイマーの設定 | 62 |
| 7.7 | バージョン情報を表示する | 63 |
| 7.8 | バージョンアップする | 64 |
| 7.9 | 初期化 | 66 |
| 8 | 履歴表示 | 68 |
| 8.1 | 履歴データを表示する | 68 |
| 8.1.1 | 共通操作 | 70 |
| 8.1.2 | 最新の履歴を表示する | 71 |
| 8.1.3 | 日時を指定して履歴を表示する | 71 |
| 8.2 | 履歴データを出力する | 72 |
| | 付録 | 75 |
| | カードの認証テスト | 75 |
| | 停電時のトレーのロックの解除方法 | 77 |
| | エラーコードとその対処 | 78 |
| | 故障かな?と思ったら | 79 |
| | 日常のお手入れについて | 80 |

製品の保証について 80
製品仕様..... 80

管理者メニューと操作の対応

管理者メニューのメニュー項目と本取扱説明書での操作の記載箇所との対応を、次の表に示します。

| 管理者メニュー | 下位メニュー | | 記載箇所 | |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|----------|
| 1. ロック解除 | 1. 全てのトレー | | 6.1 | |
| | 2. 個別のトレー | | (P45) | |
| 2. ユーザデータ (ユーザデータの編集) | 1. 表示 | 1. 管理者 | 5.3 | |
| | | 2. 一般ユーザ | (P34) | |
| | 2. 登録 | | 5.1(P26) | |
| | 3. 変更 | 1. カード | 5.4 (P35) | |
| | | 2. パスワード | | |
| | | 3. 所属グループ | | |
| | | 4. 対応トレー | | |
| | 4. 削除 | | 5.5(P39) | |
| 5. 一括登録 | | 5.1.2(P29) | | |
| 6. 退避 | | 5.6(P40) | | |
| 7. 復旧 | | 5.7(P42) | | |
| 3. 履歴データ (履歴データ出力) | 1. 最新履歴表示 | | 8.1(P68) | |
| | 2. 日時履歴表示 | | | |
| | 3. 履歴データ出力 | | 8.2(P72) | |
| 4. 装置設定 | 1. 時計設定 | | 7.2(P53) | |
| | 2. 装置 ID 設定 | | 3.6(P14) | |
| | 3. トレーマスク設定 | | 6.2(P47) | |
| | 4. タッチパネル設定 | | 7.5(P54) | |
| | 5. タイマー設定 | 1. メッセージ表示 | | 7.6(P55) |
| | | 2. 未操作 (認証前) | | |
| | | 3. 未操作 (管理者) | | |
| | | 4. 自動ロック | | |
| | | 5. 起動時エラー警告 | | |
| | | 6. LED 点滅間隔 | | |
| 7. 未操作 (画面オフ) | | | | |
| 6. ネットワーク設定 | | 3.7(P15) | | |
| 5. 運用設定 | 1. 認証中止時間 | | 7.1(P49) | |
| | 2. 時計表示 | | 7.2(P50) | |
| | 3. トレー共有 | | 3.8(P17) | |
| | 4. パスワード再確認 | | 7.3(P52) | |
| | 5. グループトレー | | 3.9(P18) | |
| 6. テスト | 1. ソレノイド&LED | | — | |
| | 2. センサ | | — | |
| | 3. LCD | | — | |
| | 4. カードリーダー | | P75 | |
| | 5. イニシャルテスト | | — | |
| | 6. 動作テスト | | — | |
| 7. ソフトウェア | 1. バージョン表示 | | 7.7(P63) | |
| | 2. バージョンアップ | | 7.8(P64) | |
| | 3. 初期化 | | 7.9(P66) | |

1 ご使用になる前に

セキュリティトレーをご使用になる前に、知っておいていただきたいことについて説明します。

1.1 製品概要

セキュリティトレーとは、トレーを利用して重要物の管理（預け入れ・取り出し・記録）を行う装置です。登録されたユーザがユーザ認証を行うと、対応するトレーのロックが解除されて、重要物の預け入れまたは取り出しができます。

ユーザ認証方法には、非接触型 IC カード（FeliCa または MIFARE）、ユーザ ID、およびパスワードを利用できます。認証方法に非接触型 IC カードを使用する場合、カードリーダーにカードをかざすことで、セキュリティトレーに認証情報を自動で登録できます。

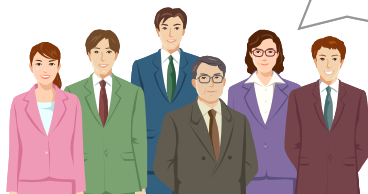
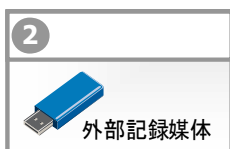
認証方法は、ユーザごとに複数の方法を組み合わせて登録できます。また、使用できるトレーもユーザごとに登録できます。管理する重要物の重要度に合わせて、ユーザの認証方法やトレーを使用できるユーザを設定することで、重要物の不正利用を防げます。

システム管理用のカードを持つユーザが利用可能



関係ないユーザは
利用できないから
安心！

ユーザIDとパスワードで、
どのユーザも利用可能



必要なときに
すぐに借りられて
便利！

ユーザの操作履歴は、セキュリティトレー内に約 10,000 件保存されます。保存された操作履歴は、USB メモリを使用して PC に取り込んで閲覧できます。万が一、重要物の紛失が疑われた場合も、操作履歴を確認して最終利用者に問い合わせるなどの適切な対応を行えます。



トレーの最終利用者に
問い合わせ

注

- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- MIFARE（マイフェア）は NXP セミコンダクターズの登録商標です。

1 ご使用になる前に

- セキュリティトレイを利用できるユーザは、決められたトレイを利用して重要物を管理する《一般ユーザ》と、ユーザ登録や各種設定などを行い、セキュリティトレイを管理する《管理者》です。なお、登録できるユーザ数は、管理者と一般ユーザを合わせて最大 3,000 ユーザです。
- 管理者が登録したユーザ（一般ユーザ）だけがセキュリティトレイを利用します。一般ユーザは、あらかじめ管理者によって決められたトレイの中から利用するトレイを選び、重要物の預け入れや取り出しを行います。なお、預け入れや取り出しの回数に制限はありません。

注意

トレイ内の重要物の盗難・紛失や、個人情報等に関するセキュリティは、お客様の責任で管理してください。また、ユーザデータや履歴データは、定期的にバックアップを取るようになっています。

この取扱説明書では、セキュリティトレイ単体での使用方法について説明しています。ユーザデータの作成などに使用する管理ソフトウェアの使用方法は、ソフトウェア添付の取扱説明書を参照してください。

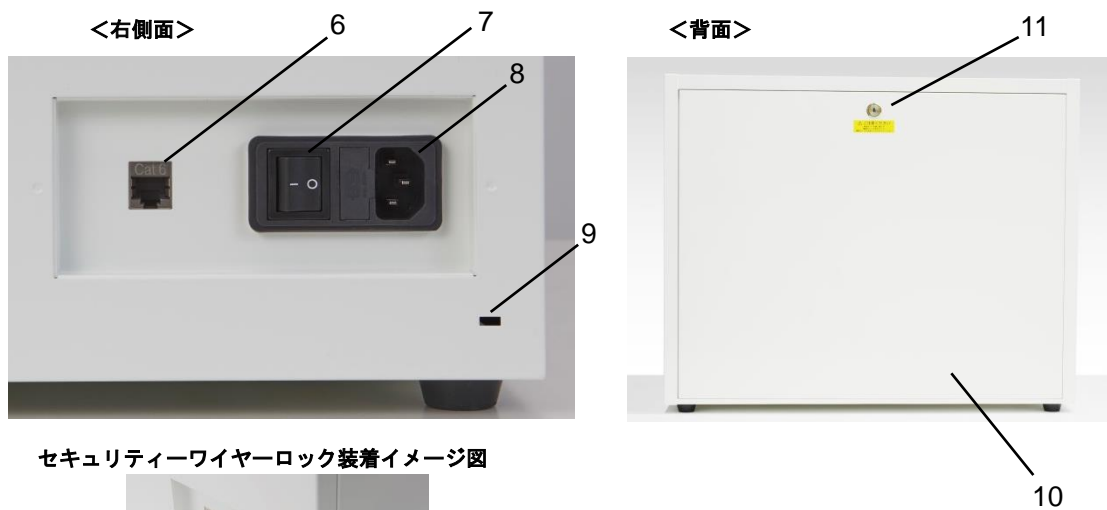
1.2 各部の名称

セキュリティトレイの各部の名称について説明します。

<正面>



| 項番 | 名称 | 備考 |
|----|--------------|--|
| 1. | トレイ | 5列6段30トレイ 仕切り板付き 幅 86mm × 奥行 200mm × 高さ 60mm (内寸) トレイNo.は、1列目の左端から順に①、②、…と割り振られています。 |
| 2. | タッチパネル | 感圧式 4.3インチ |
| 3. | 取手 | |
| 4. | カードリーダー | |
| 5. | USBメモリ用差し込み口 | USBキャップ付 |



セキュリティワイヤーロック装着イメージ図



| 項番 | 名称 | 備考 |
|-----|--------------|--------------------------|
| 6. | LAN ポート | |
| 7. | 電源スイッチ | |
| 8. | AC インレット | |
| 9. | セキュリティホール | ノートパソコン用セキュリティワイヤーロック装着用 |
| 10. | 背面カバー | |
| 11. | 背面カバー取り外し用鍵穴 | |

2 導入準備

セキュリティトレーを導入する前に、準備しておいていただきたいことについて説明します。

2.1 同梱品の確認

セキュリティトレーには、次のものが同梱されています。万一不足しているものがありましたら、弊社またはお買い求めの販売店までお問い合わせください。

| 項番 | 名称 | 数量 | 備考 | 確認 |
|----|-----------------------|-----|--|----|
| 1. | セキュリティトレー本体 | 1台 | トレー、仕切り板、USB キャップはセット済みです。 | ○ |
| 2. | トレー | 30個 | | |
| 3. | トレー台紙 | 30枚 | | |
| 4. | 仕切り板 | 30枚 | トレーの前面（トレー台紙の面）にセットすると、トレーの目隠し代わりになります。 トレー交換（取り外し）にも使用しますので、仕切り板を使用しない場合も保管してください。 | |
| 5. | USB キャップ | 1個 | | |
| 6. | 管理プログラム・取扱説明書収録の CD-R | 1枚 | | |
| 7. | 保証書／保証登録のお願い | 1枚 | | |
| 8. | 非常開錠キー | 2本 | | |
| 9. | 電源ケーブル | 1本 | 3m | |

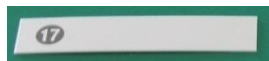
2. トレー



トレーを交換するときは、トレー枠の上部に付いている金具（下図の囲み部分）を仕切り板で押し上げながら、トレーを引き出してください。



3. トレー台紙

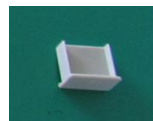


4. 仕切り板



7. 保証書

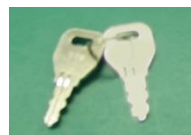
5. USB キャップ



6. CR-R



8. 非常開錠キー



9. 電源ケーブル



2.2 準備しておくこと

セキュリティトレイを導入するまでに次のことを決めておいてください。

- セキュリティトレイの管理者を誰にするか
- どのユーザがどのトレイを使用するか
- 各権限グループがどのトレイを使用するか
- 各ユーザのユーザ ID と認証方法

また、次のものは同梱品ではないため、必要に応じて準備してください。

| 項番 | 名称 | 数量 | 用途 | 確認 |
|----|---------------------------------|------|--------------------------|----|
| 1 | アース線ネジ止め端子付の2極コンセント | 1口 | 電源ケーブル接続用 | |
| 2 | 非接触型 IC カード (FeliCa または MIFARE) | 必要枚数 | ユーザ認証用 | |
| 3 | USB メモリ | 1個 | ユーザデータの退避、 および履歴の出力用 | |
| 4 | ノートパソコン用セキュリティワイヤーロック | 1組 | 盗難防止用 | |
| 5 | LAN ケーブル | 1本 | 管理プログラムを使用してネットワーク運用する場合 | |

※社内のネットワークに接続して利用する場合は、ネットワーク管理者に固定の IP アドレスの申請をしてください。

※ネットワーク運用の場合は、USB メモリを利用せずに運用が可能です。

3 導入

セキュリティトレイを導入する前に、準備しておいていただきたいことについて説明します。

3.1 導入の流れ

セキュリティトレイを導入するにあたり、管理者が実施する作業の流れを次の表に示します。なお、項番 5 の作業は、項番 1～4 の作業が終わってから実施してください。

| 項番 | 作業内容 | 必須かどうか | 参照箇所 |
|----|--------------|-------------------------|------------|
| 1 | セキュリティトレイの設置 | 必須 | 3.2 (p 10) |
| 2 | 時計の設定 | 必須 | 3.4 (P 12) |
| 3 | 管理者の登録 | 必須 | 3.5 (p 12) |
| 4 | 装置 ID の設定 | 複数台のセキュリティトレイを使用する場合は必須 | 3.6 (p 14) |
| 5 | 管理者・一般ユーザの登録 | 必須 | 5.1 (p 26) |
| 6 | ネットワーク環境の設定 | ネットワーク環境で運用の場合必須 | 3.7 (P 15) |

3.2 設置する

セキュリティトレイを設置します。

注意

- 装置は不安定な場所ではなく、水平な平面に設置してください。
装置が転倒したり落下したりするなどして、けがの原因となります。
- 装置の移動は、装置落下を防ぐため二人以上で作業を行ってください。
装置の落下によりけがをすることがあります。また、装置の破損の原因となります。

設置条件

- 停電時に背面カバーの開錠が容易な場所に設置してください。
- 机の上に設置する場合は、水平で安定した台に設置してください。
- 温度 5℃～40℃、湿度 20%～80%を満たす場所に設置してください。

設置手順



⚠ 注意

電源ケーブルや LAN ケーブルは、手や足が引っ掛かることのないように配線してください。

転倒するなどけがの原因となるおそれがあります。

1. 設置条件を満たす場所に、セキュリティトレーを置きます。

2. AC インレットに電源ケーブルを接続します。

3. 電源プラグをコンセントに接続します。

電源仕様およびコンセント仕様は次のとおりです。

電源仕様

AC100V 50Hz / 60Hz 100W

コンセント仕様

100V コンセント (JIS C8303 2 極コンセント 15A 125V)

平行型 アース線ネジ止め端子付

3.3 電源を入れる

セキュリティトレーの電源を入れます。



<タッチパネル 待機画面>



1. 装置正面から見て右側面にある電源スイッチを ON (「I」が押された状態) にします。

電源スイッチを ON にすると、「ピッ」と音が鳴り、液晶画面のバックライトが点灯して起動画面が表示されます。

約 1 分後、待機画面が表示されます。

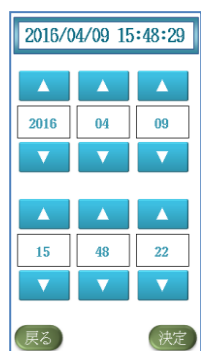
※初回電源投入時は、登録者 ID の入力画面が表示されます。

なお、電源を切るときは、電源スイッチを OFF (「O」が押された状態) にします。

3.4 時計を設定する

初めて電源を入れると、時計の設定を要求するメッセージが表示されます。セキュリティトレイ本体の時刻の設定を行ってください。

<タッチパネル画面表示>



1. 時計の設定画面が表示されます。
一番上に表示されているのが現在設定されている時刻です。
上段 : 年、月、日
下段 : 時、分、秒の表示です。
▲▼を押して現在時刻に変更し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、登録者 ID の入力画面に移ります。

なお、初期に登録した後でも、設定を直すことができます。詳細は 7.1(P)をご参照ください。

3.5 管理者を登録する

初めて電源を入れた時のみ、時計の設定が完了した後に、管理者の登録を要求するメッセージが表示されます。下記の流れに従って登録を行ってください。

<タッチパネル画面表示>



1. 登録者 ID に「01234」を入力し、[決定] を押します。

「01234」以外の ID を入力したときはエラーとなります。

パスワードを入力してください

| | | |
|-----|---|-----|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |
| Del | 0 | Clr |

戻る 並替 決定

管理者登録を行います
IDを入力してください

| | | |
|-----|---|-----|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |
| Del | 0 | Clr |

決定

照合方法を選択して下さい

カードのみ

カード+ID

ID+パスワード

カード+パスワード

カード+ID+パスワード

戻る 決定



2. パスワードに「1111」と入力し、[決定] を押します。

「1111」以外のパスワードを入力したときはエラーとなります。

3. 管理者登録を行います。

管理者のユーザ ID を 4~16 桁の数字で入力し、[決定] を押します

4. 認証方法を次の中から選択し、[決定] を押します。

- カードのみ
カードだけで認証する場合に選択します。
- カード+ID
カードと管理者 ID で認証する場合に選択します。
- ID+パスワード
管理者 ID とパスワードで認証する場合に選択します。
- カード+パスワード
カードとパスワードで認証する場合に選択します。
- カード+ID+パスワード

5. カードをカードリーダにかざします。【認証方法にカードが含まれる場合】





6. パスワードを 4～16 桁の数字で入力し、[決定] を押します。【認証方法にパスワードが含まれる場合】

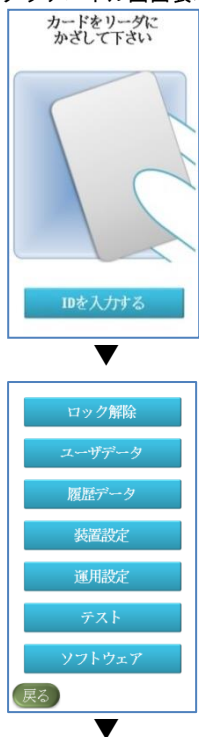
7. 登録確認画面が表示されるので、内容を確認し、[登録] を押します。
[中止] を押すと、一つ前の画面に戻ります。

登録が完了すると、登録完了のメッセージが表示され、待機画面が表示されます。

3.6 装置 ID を設定する【複数台使用する場合】

セキュリティトレーを複数台使用するときには、それぞれに装置 ID を設定します。装置 ID を設定しておくことで、装置ごとの操作履歴を容易に把握できます。

<タッチパネル画面表示>

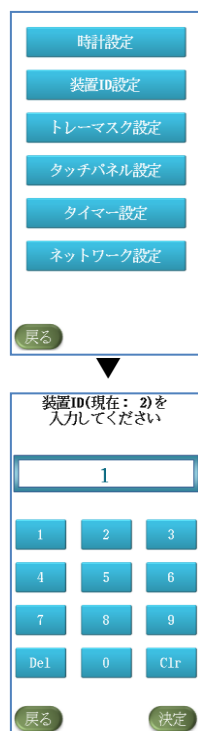


1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。



3. 「装置 ID 設定」を選択します。

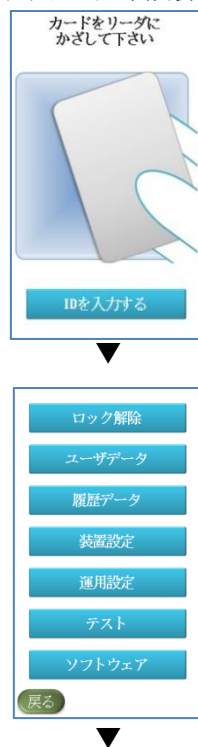
4. 装置 ID を 1～99 の範囲内で入力し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、装置設定メニューに戻ります。

3.7 ネットワーク設定をする【ネットワーク接続をする場合】

管理プログラムを使用し、パソコンでセキュリティトレーを管理する際にネットワーク接続を行うための、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイの設定ができます。

<タッチパネル画面表示>

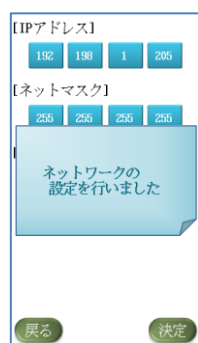
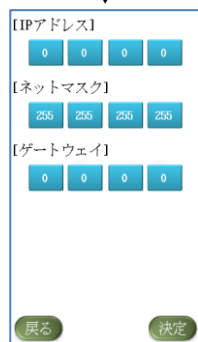


1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。



3. 「ネットワーク設定」を選択します。

4. IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイの数値を変更します。

変更したいオクテットの数字を押すと、オクテットの数値を変更する画面が表示されます。

5. オクテットの数値を入力し、[決定] を押します。

6. 数字が変更された状態で、前の画面に戻ります。

表示されている数値で確定させる場合は、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、装置設定メニューに戻ります。

3.8 トレーの共有可否を設定する

一つのトレーを複数の一般ユーザで共有できるようにするかどうか（トレーの共有可否）を設定します。なお、初期設定では、トレーを共有する設定になっています。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「運用設定」を選択します。

運用設定メニューが表示されます。

3. 「トレー共有」を選択します。

4. 「ON」か「OFF」を選択して、[決定] を押します。
表示されているものが、現在設定されている状態です。
(左の画面の場合は OFF の状態です。)

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、運用設定メニューに戻ります。

3.9 グループ設定をする【グループでの運用をする場合】

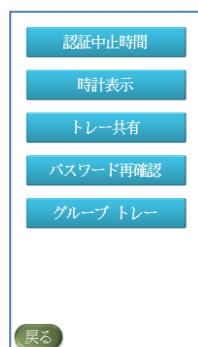
一般ユーザを登録する際に、グループを設定することができます。グループごとにトレーの権限をつけることができるので、部署内のメンバーが同じトレーを共有して使用する場合等に便利です。

なお、ユーザ登録を、グループで設定した場合は、グループで権限を与えていない個別のトレーの権限を追加することはできませんのでご注意ください。

例) グループ1の解放権限トレー：1、2、3、4、5

⇒Aさんをグループ1に設定した場合、Aさんはトレー1、2、3、4、5を開けることができますが、トレー6の権限も与えたい場合は、グループに所属させるのではなく、個別設定にてトレー1、2、3、4、5、6を選択してください。(※ユーザ登録の詳細に関しては5.1(P26)~をご参照ください)

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「運用設定」を選択します。

運用設定メニューが表示されます。

3. 「グループトレー」を選択します。

設定するグループ番号
を入力してください

128

1 2 3
4 5 6
7 8 9
Del 0 Clr

戻る 決定

対応トレーNo.を
選択して下さい

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
11 12 13 14 15
16 17 18 19 20
21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

戻る 決定

4. 設定するグループ番号を 1～128 の範囲内で入力し、
[決定] を押します。

5. 4 で入力したグループに権限を与えるトレーを選択し、
[決定] を押します。※複数選択可能です。
トレー番号のタッチで、選択／選択解除になります。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、運用設定メニューに戻ります。

※管理者は、本体でグループ設定をする場合、グループ名等の表示がないので、グループコードの設定の記録を残しておく必要があります。

※グループを削除したい場合

グループの削除というメニューはありません。上記と同様の流れで、削除したいグループ番号を入力し、選択してある対応トレーをすべて解除し、[決定] を押して設定することで、そのグループ番号に登録されているトレーはなくなります。

4 基本操作

セキュリティトレイの基本的な操作について説明します。

4.1 セキュリティトレイの利用方法

セキュリティトレイへの重要物の預け入れ、およびセキュリティトレイに預けた重要物の取り出しは、次の方法で行います。



1. ユーザ認証を行います。

トレイのLEDが点灯します。また、トレイのロックが解除されます。

注意

トレイのロックが解除される前にトレイを引き出さないでください。ロックを解除できなくなります。

2. トレーを引き出して、重要物を預け入れます。または、重要物を取り出します。

3. トレーを戻します。

トレイのLEDが消灯します。また、トレイが自動でロックされます。

すべてのトレイがロックされると、待機画面に戻ります。

4.2 ユーザ認証方法【管理者・一般ユーザの場合】

管理者および一般ユーザのユーザ認証方法には、次の4種類の認証方法があります。

- カード（非接触型 IC カード）による認証
- ユーザ ID+カード（非接触型 IC カード）による認証
- ユーザ ID+パスワードによる認証
- カード（非接触型 IC カード）+パスワードによる認証
- カード（非接触型 IC カード）+ユーザ ID+パスワードによる認証

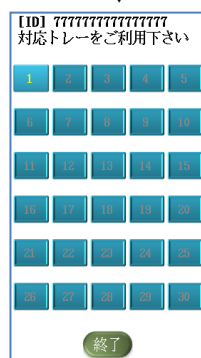
一般ユーザがユーザ認証すると、対応するトレーの LED が点灯し、ロックが解除されて重要物の預け入れができるようになります。管理者がユーザ認証すると、管理メニューが表示されます。

4.2.1 カードによる認証

<タッチパネル画面表示>



※タッチパネル画面が消えている状態でもカードはカードリーダーで認証できます。



1. カードをカードリーダーにかざします。



認証に成功すると、対応するトレーの LED が点灯し、ロックが解除されます。

認証に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。その後、待機画面に戻ります。

4.2.2 ユーザ ID+カードによる認証

ここでは、ユーザ ID、カードの順に認証する流れとしていますが、カード、ユーザ ID の順で認証することもできます。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面の、[ID を入力する] を押します。

2. ユーザ ID を入力して、[決定] キーを押します。
有効な ID を入力すると、カードをかざす画面が表示されます。

※キーの説明

[Del] 一文字削除

[Clr] 入力した文字を全て削除

[戻る] 一つ前の画面に戻る

3. カードをカードリーダにかざします。



認証に成功すると、対応するトレーの LED が点灯し、ロックが解除されます。

認証に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。その後、待機画面に戻ります。

4.2.3 ユーザ ID+パスワードによる認証

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面の、[ID を入力する] を押します。
2. ユーザ ID を入力して、[決定] キーを押します。
有効な ID を入力すると、パスワード入力画面が表示されます。

3. パスワードを入力して、[決定] キーを押します。
※ [並替] キーを押すと、テンキーの順番が変更されます。

認証に成功すると、対応するトレイの LED が点灯し、ロックが解除されます。

認証に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。その後、待機画面に戻ります。

4.2.4 カード+パスワードによる認証

<タッチパネル画面表示>



※タッチパネル画面が消えている状態でもカードはカードリーダーで認証できます。



1. カードをカードリーダーにかざします。



有効なカードが認証されると、パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワードを入力して、[決定] キーを押します。

認証に成功すると、対応するトレーのLEDが点灯し、ロックが解除されます。

認証に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。その後、待機画面に戻ります。

4.2.5 カード+ユーザ ID+パスワードによる認証

ここでは、カード、ユーザ ID、パスワードの順に認証する流れとしていますが、ユーザ ID、カード、パスワードの順で認証することもできます。

<タッチパネル画面表示>



※タッチパネル画面が消えている状態でもカードはカードリーダーで認証できます。

1. カードをカードリーダーにかざします。



有効なカードが認証されると、ID入力画面が表示されます。



2. ユーザ ID を入力して、[決定] キーを押します。
有効な ID を入力すると、パスワード入力画面が表示されます。

3. パスワードを入力して、[決定] キーを押します。

認証に成功すると、対応するトレイの LED が点灯し、ロックが解除されます。

認証に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。その後、待機画面に戻ります。

5 ユーザデータの管理

ユーザデータを管理するときの操作について説明します。

5.1 ユーザデータを登録する

セキュリティトレーにユーザデータを登録します。ユーザデータの登録方法には、次の2種類の方法があります。

- ユーザデータを1件ずつ個別に登録する
- USBメモリに格納したユーザデータを一括で登録する

なお、登録できるユーザ数は、管理者と一般ユーザを合わせて最大3,000ユーザです。

※同一のICカードで、管理者と一般ユーザの両方の登録は可能です。(ただし、IDは同一不可)

5.1.1 ユーザデータを個別に登録する

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ユーザデータ」を選択します。

ユーザデータメニューが表示されます。

表示
登録
変更
削除
一括登録
退避
復旧
戻る

ユーザー登録を行います
IDを入力して下さい

5678

1 2 3
4 5 6
7 8 9
Del 0 Clr

戻る 決定

ユーザー種別を選択して下さい

管理者
一般ユーザー

戻る 決定

照合方法を選択して下さい

カードのみ
カード+ID
ID+パスワード
カード+パスワード
カード+ID+パスワード

戻る 決定

3. 「登録」を選択します。

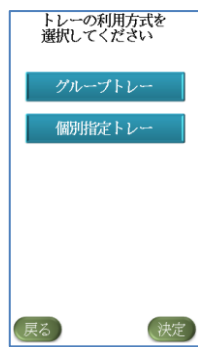
4. ユーザ ID を 4～16 桁の数字で入力し、[決定] を押します。
すでに同じ ID が登録されているときはエラーとなります。

5. ユーザの種類を次の中から選択し、[決定] を押します。

- 管理者
管理者を登録する場合に選択します。
- 一般ユーザー
一般ユーザーを登録する場合に選択します。

6. 認証方法を次の中から選択し、[決定] を押します。

- カードのみ
カードだけで認証する場合に選択します。
- カード+ID
カードとユーザー ID で認証する場合に選択します。
- ID+パスワード
ユーザー ID とパスワードで認証する場合に選択します。
- カード+パスワード
カードとパスワードで認証する場合に選択します。
- カード+ID+パスワード
カード、ユーザー ID、およびパスワードで認証する場合に選択します。



7. カードをカードリーダにかざします。【認証方法にカードが含まれる場合】



すでに登録済みのカードのときはエラーとなります。

8. パスワードを 4～16 桁の数字で入力し、[決定] を押します。【認証方法にパスワードが含まれる場合】

9. パスワードを再確認します。【パスワード再確認が設定されている場合】
8 で入力したパスワードを再度入力し、[決定] を押します。

パスワードが異なる場合は、8 の画面に戻ります。再度入力し直してください。

※管理者の登録の場合は、13 の画面に移ります。

10. 設定するトレーの利用方式を次の中から選択し、[決定] を押します。

- グループトレー
グループごとに利用できるトレーを設定している場合に選択します。
- 個別指定トレー
個別にトレーの権限を設定する場合に選択します。

※グループ設定した場合は、グループで登録されているトレーのみに権限が与えられますのでご注意ください（詳細は 3.9(P18)をご参照ください）

所属グループ0から128
を設定してください
※0は所属なし

128

1 2 3
4 5 6
7 8 9
Del 0 Clr

戻る 決定

対応トレーNo.を
選択して下さい

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
11 12 13 14 15
16 17 18 19 20
21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

戻る 決定

登録確認

【種別】
一般ユーザ(所属: 128)

【ID】
5678

【照合方法】
カード+ID+パスワード

【カードID】
01270052536C70A80000

【対応トレーNo.】
2 8 14 15 17 18 20 24
26 28

中止 登録

11. 【グループトレーを選択した場合】

所属グループの番号を入力し、[決定] を押します。
グループの設定方法は 3.9(P18~)をご参照ください。

12. 【個別指定トレーを選択した場合】

権限を設定するトレーのトレーNo.を選択し、[決定]
を押します。

選択したトレーのLEDが点灯します。

なお、トレーNo.は、複数入力できます。

※トレーの共有が OFF になっている場合、既に他のユー
ザで権限を与えているトレー番号は暗くなっており、選択
できないようになっています。

13. 登録確認画面が表示されるので、内容を確認し、[登録]
を押します。

[中止] を押すと、一つ前の画面に戻ります。

登録が完了すると、登録完了のメッセージが表示され、ユ
ーザデータの管理画面に戻ります。

5.1.2 ユーザデータを一括で登録する

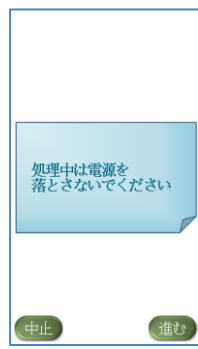
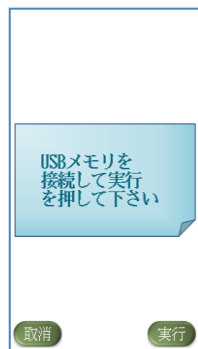
※ユーザデータの一括登録を行う場合、同梱の管理プログラムを使用して、あらかじめ登録用データを作成し、USBメモリに保存しておく必要があります。(別冊：管理プログラム取扱説明書 P48~参照)

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。



2. 「ユーザーデータ」を選択します。

ユーザーデータメニューが表示されます。

3. 「一括登録」を選択します。

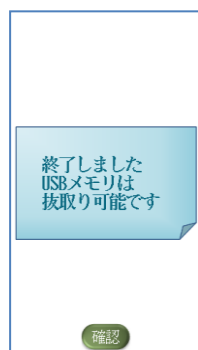
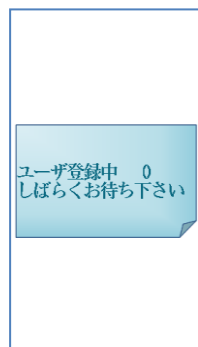
4. USBメモリ接続画面が表示されます。

USBメモリを差し込んで、[実行] を押します。



5. USBメモリを認識すると、確認画面が表示されます。

登録するときは、[進む] を押します。操作を中止するときは、[中止] を押します。

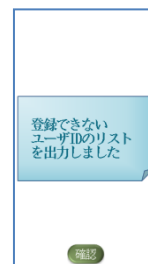


USBメモリを認識できないときは、エラーメッセージが表示されます。USBメモリが破損していないか確認してください。

6. 登録が完了すると、登録完了のメッセージが表示されます。[確認] を押すと、ユーザデータメニューに戻ります。

⚠ 注意

データに重複するIDや不正なデータがあった場合は、メッセージが表示され、登録できないユーザIDが一括登録エラーリスト (regerror.csv) としてUSBメモリに出力されます。



5.2 仮登録ユーザを本登録する

ユーザデータを一括で仮登録した場合は、カード情報やパスワードが設定されていないため（仮登録ユーザ）、初めて利用するときこれらの情報の登録が必要になります。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面の、[ID を入力する] を押します。

2. 仮登録されているユーザ ID を入力して、[決定] キーを押します。

「本登録を行います」というメッセージが表示されるので、[実行] を押します。

3. カードをカードリーダにかざします。【認証方法にカードが含まれる場合】



すでに登録済みのカードのときはエラーとなります。

パスワードを入力して下さい

| | | |
|-----|---|-----|
| 6 | 5 | 7 |
| 1 | 2 | 8 |
| 9 | 0 | 4 |
| Del | 3 | Clr |

戻る 登録 決定

登録確認

【種別】
一般ユーザ(所属: 128)

【ID】
5678

【照合方法】
カード+ID+パスワード

【カードID】
01270052536C70A80000

【対応トレーNo.】
2 8 14 15 17 18 20 24
26 28

中止 登録

4. パスワードを 4~16 桁の数字で入力して、[決定] を押します。【認証方法にパスワードが含まれる場合】

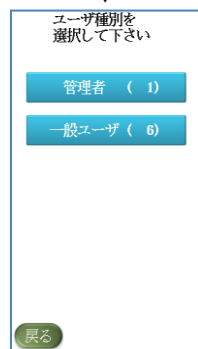
5. 登録確認画面が表示されるので、内容を確認し、[登録] を押します。

本登録完了のメッセージが表示され、待機画面に戻ります。

5.3 ユーザデータを表示する

セキュリティトレに登録されているユーザデータ（ユーザ ID、認証方法、カード ID、対応トレ No.）を表示します。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ユーザデータ」を選択します。

ユーザデータメニューが表示されます。

3. 「表示」を選択します。

4. 表示したいユーザ種別を選択します。

なお、カッコ内にはユーザの種類ごとに登録されているユーザ数が表示されます。

- 管理者
管理者のユーザデータを表示する場合に選択します。
- 一般ユーザ
一般ユーザのユーザデータを表示する場合に選択します。

一般ユーザ (1)

【種別】
一般ユーザ(所属: なし)

【ID】
7777777777777777

【照合方法】
カードのみ

【カードID】
011040003A0A3B080000

【対応トレイNo.】
1 6 7 8 9 10 11 13
14 15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28 29
30

中止 前へ 次へ

※一般ユーザの場合の表示画面例

5. ユーザ ID 順にユーザデータの詳細が表示されます。

[前へ] ・ [次へ] を押して必要な情報を閲覧してください。

操作を中止する場合は [中止] を押すと、前の画面に戻ります。さらに [戻る] を押すと、ユーザデータメニューに戻ります。

5.4 ユーザデータを変更する

セキュリティトレイに登録されているユーザデータを変更します。変更できるユーザデータは、次の表に示すようにユーザの種類と認証方法によって異なります。

表 5-1 変更できるユーザデータ

| ユーザの種類 | 認証方法 | 変更できるユーザデータ |
|--------|---------------------------|--|
| 一般ユーザ | カードのみ、または カード+ID | <ul style="list-style-type: none"> カード 対応トレイNo. |
| | ID+パスワード | <ul style="list-style-type: none"> パスワード 対応トレイNo. |
| | カード+パスワード ID+カード+パスワード | <ul style="list-style-type: none"> カード パスワード 対応トレイNo. |
| 管理者 | カードのみ、または カード+ID | カード |
| | ID+パスワード | パスワード |
| | カード+パスワード ID+カード+パスワード | <ul style="list-style-type: none"> カード パスワード |

※ユーザ ID、認証方法の変更はできません。変更したい場合は、一度ユーザデータの削除を行った後、再度新規で登録を行ってください。（削除方法は 5.5 (P39~) をご参照ください）

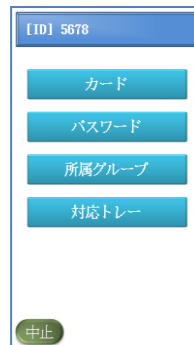
5.4.1 共通操作

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。



2. 「ユーザデータ」を選択します。

ユーザデータメニューが表示されます。

3. 「変更」を選択します。

4. 変更するユーザ ID を入力し、[決定] を押します。

5. 変更したい項目を選択します。

※登録されている情報によって、表示される項目は異なります。詳しくは表 5-1 をご参照ください。

選択後の操作については、5.4.2 以降の説明を参照してください。

5.4.2 カードを変更する

<タッチパネル画面表示>



1. ユーザ変更メニューで、「カード」を選択します。
カードをかざす画面が表示されます。
2. 変更後に使用するカードを、カードリーダにかざします。



他の ID で登録済みのカードまたは変更前のカードと同じカードのときはエラーとなります。

変更が完了すると、変更完了のメッセージが表示され、ユーザデータメニューに戻ります

5.4.3 パスワードを変更する

<タッチパネル画面表示>



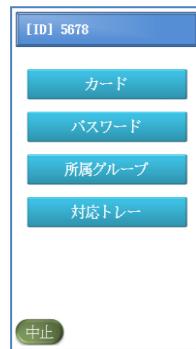
1. ユーザ変更メニューで、「パスワード」を選択します。

パスワード入力画面が表示されます。
2. 変更後に使用するパスワードを 4~16 桁の数字で入力して、[決定] を押します。
3. 【パスワードの再確認が設定されている場合】
2 で入力した数字を再度入力し、[決定] を押します。

変更が完了すると、変更完了のメッセージが表示され、ユーザデータメニューに戻ります。

5.4.4 対応トレーNo.を変更する

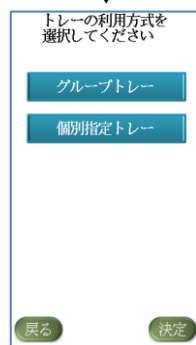
<タッチパネル画面表示>



【ID】 5678

カード
パスワード
所属グループ
対応トレー

中止



トレーの利用方式を
選択してください

グループトレー
個別指定トレー

戻る 決定

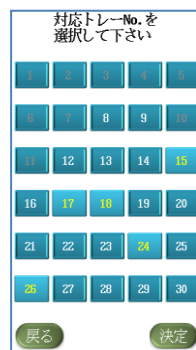


所属グループ0から128
を設定してください
※0は所属なし

128

1 2 3
4 5 6
7 8 9
De1 0 Clr

戻る 決定



対応トレーNo.を
選択して下さい

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

戻る 決定

1. ユーザ変更メニューで、「対応トレー」を選択します。

トレーの利用方式の選択画面が表示されます

2. トレーの利用方式を選択します。

3. 【グループトレーを選択した場合】

変更後の所属グループの番号を入力し、[決定] を押します。

変更が完了すると、変更完了のメッセージが表示され、ユーザデータメニューに戻ります。

※変更前に、個別指定トレーを設定していた場合、それらの権限はなくなり、グループでの権限のみになります。

4. 【個別指定トレーを選択した場合】

設定したいトレーNo.を押し、[決定] を押します。

有効なトレーNo.を入力すると、トレーのLEDが点灯します。選択を外したい場合は、点灯しているNo.を再度押すと選択は解除され、LEDも消灯します。

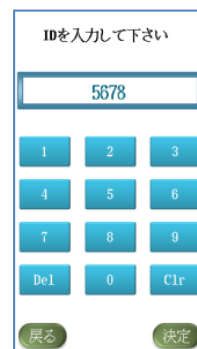
※変更前に、グループを設定していた場合、それらの権限はなくなり、個別指定トレーでの権限のみになります。

変更が完了すると、変更完了のメッセージが表示され、ユーザデータメニューに戻ります。

5.5 ユーザーデータを削除する

セキュリティトレに登録されているユーザーデータを削除します。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

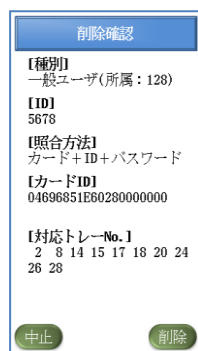
2. 「ユーザーデータ」を選択します。

ユーザーデータメニューが表示されます。

3. 「削除」を選択します。

4. 削除したいユーザ ID を入力し、[決定] を押します。

存在しないユーザ ID や、現在ログイン中の管理者のユーザ ID を入力したときはエラーとなります。



5. 削除確認画面が表示されます。
 内容を確認の上、削除するときは、[削除] を押します。

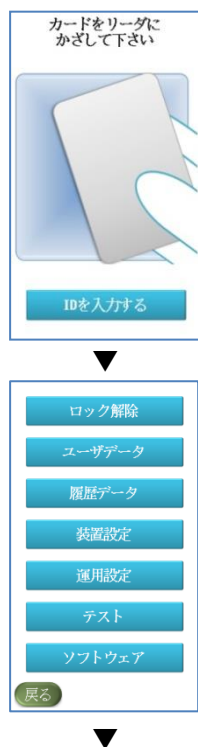
削除が完了すると、削除完了のメッセージが表示され、ユーザーデータメニューに戻ります。

5.6 ユーザーデータを退避する

セキュリティトレに登録されているユーザーデータを、USBメモリに退避します。万が一、ユーザーデータが失われた場合でも、退避したデータを使用して、ユーザーデータを復旧することができます。(5.7 参照) ユーザーデータを登録や変更を行った際に、ユーザーデータの退避を行うことを推奨します。

なお、退避されたバックアップデータは、暗号化されている為、ファイルの内容の閲覧や編集を直接行うことはできません。

<タッチパネル画面表示>

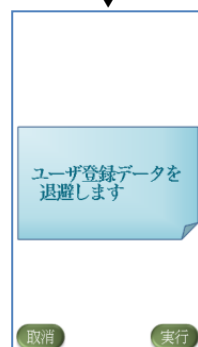
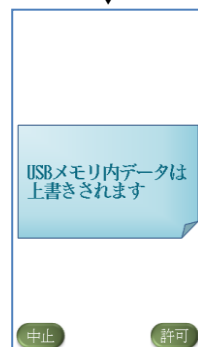
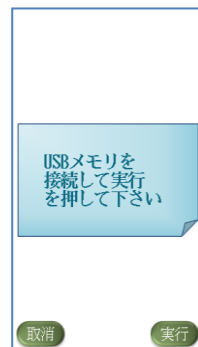


1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ユーザーデータ」を選択します。

ユーザーデータメニューが表示されます。



3. 「退避」を選択します。

4. USBメモリ接続画面が表示されます。

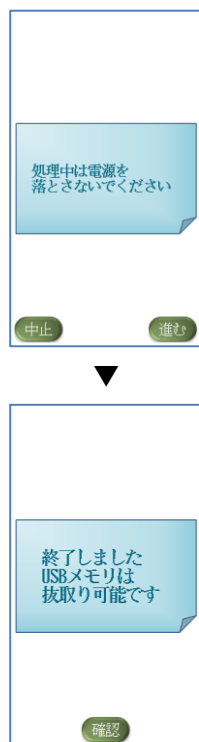
5. USBメモリを接続し [実行] を押します。

⚠注意

USBメモリ内に「userregs.dat」ファイルがある場合、上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。

データを上書きして問題ないときは、[許可] キーを押します。操作を中止するときは、[中止] キーを押します。

6. ユーザデータを退避するときは、[実行] を押します。操作を中止するときは、[取消] を押します。



7. ユーザデータを退避するときは、[進む] を押します。
操作を中止するときは、[中止] を押します。

退避が完了すると、退避完了のメッセージが表示されます。
[確認] を押すと、ユーザデータメニューに戻ります。

5.7 ユーザデータを復旧する

USB メモリに退避したデータを、セキュリティトレーに復旧します。なお、退避データにないユーザデータは削除されます。

USB メモリに退避したデータ「userregs.dat」を、「userregl.dat」とファイル名を変更し、USB メモリ内に保存してください。

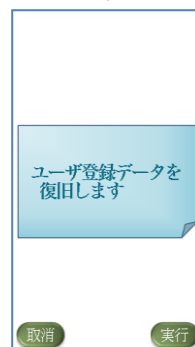
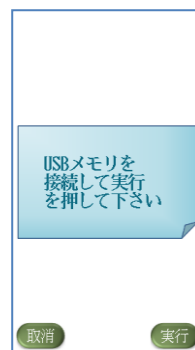
※ユーザデータの退避を行っていない場合は、復旧はできませんのでご注意ください。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。



2. 「ユーザーデータ」を選択します。

ユーザーデータメニューが表示されます。

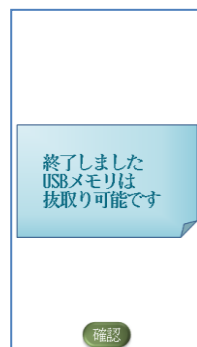
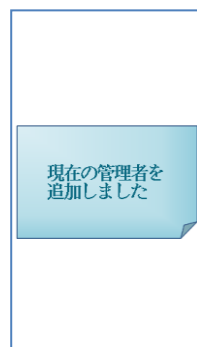
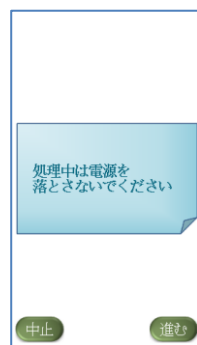
3. 「復旧」を選択します。

4. USBメモリ接続画面が表示されます。

退避したデータ「userregs.dat」を、「userregl.dat」とファイル名を変更し、保存したUSBメモリを接続し、[実行]を押します。

5. 登録データの復旧を行う場合は、[実行]を押します。

中止する場合は[取消]を押します。



6. ユーザデータを復旧するときは、[進む] を押します。
操作を中止するときは、[中止] を押します。

7. 復旧ファイルに自身の情報が含まれていない場合、管理者
が追加されます。

退避が完了すると、退避完了のメッセージが表示されま
す。[確認] を押すと、ユーザデータメニューに戻りま
す。

6 トレーの管理

トレーを管理するときの操作について説明します。

6.1 トレーのロックを解除する

管理者はトレーのロックを解除できます。トレーのロックの解除方法には、次の2種類の方法があります。

- すべてのトレーのロックを解除する
- 個別にトレーを指定して解除する

6.1.1 共通操作

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ロック解除」を選択します。

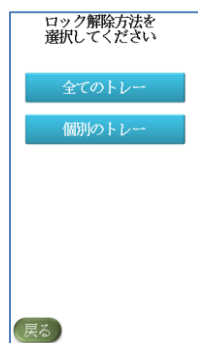
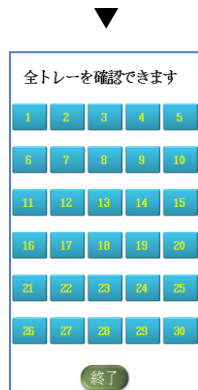
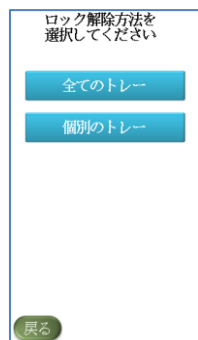
ロック解除メニューが表示されます。

3. ロック解除メニューが表示されます。

選択後の操作については、6.1.2 以降の説明を参照してください。

6.1.2 すべてのトレーのロックを解除する

<タッチパネル画面表示>



1. ロック解除メニューで、「全てのトレー」を選択します。

全てのトレーのロックが解除されます。（すべてのトレーのLEDが点灯します。）

2. すべてのトレーのロックが解除されて、LEDが点灯します。必要な作業のあとにトレーを元に戻して [終了] を押すと、すべてのトレーをロックします。

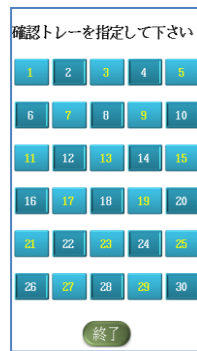
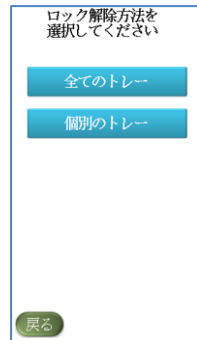
タッチパネルはロック解除メニューに戻ります。

3. ロック解除メニューから [戻る] を押して、管理メニューに戻ります。

6.1.3 個別のトレイを解除する

開錠したいトレイだけを選択し、ロックを解除することができます。

<タッチパネル画面表示>



1. ロック解除メニューで「個別のトレイ」を選択します。

トレイの指定画面が表示されます。

2. 開錠したいトレイの No.を押すと、トレイのロックが解除されて、LED が点灯します。トレイは複数選択できます。必要な作業のあとにトレイを元に戻して [終了] を押すと、すべてのトレイをロックします。

タッチパネルはロック解除メニューに戻ります。

ロック解除メニューから [戻る] を押して、管理メニューに戻ります。

6.2 トレイを利用停止にする

トレイが破損するなどして使用できないときは、トレイをマスクして利用停止にします。マスクしたトレイは、ユーザに権限があった場合でも、認証後に開錠はされません。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

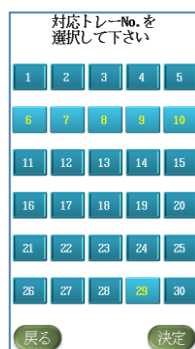


2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。



3. 「トレーマスク設定」を選択します。



4. 現在、マスク設定されているトレイのLEDが点灯します。
 利用停止にするトレイのトレイNo.を押します。
 トレーの利用停止を解除するときは、選択されているトレイNo.を押すと、選択が解除され、LEDも消灯します。

[決定] を押します。

設定が完了すると、装置設定メニューに戻ります。

7 装置の設定

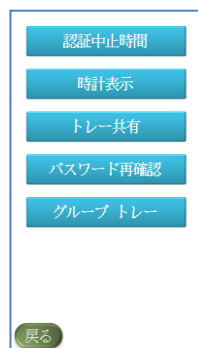
セキュリティトレイの各種設定するときの操作について説明します。

7.1 ユーザ認証の中止時間を設定する

ユーザ認証の中止時間を設定します。中止時間は最大2つの時間帯を設定できます。

なお、認証中止時間中でも管理者は認証・操作が可能です。

<タッチパネル画面表示>



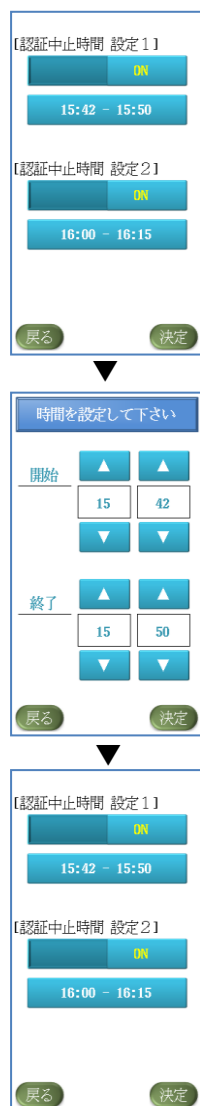
1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「運用設定」を選択します。

運用設定メニューが表示されます。

3. 「認証中止時間」を選択します。



4. 認証中止時間設定メニューが表示されます。
ON か OFF かを選択します。

表示されているものが、現在設定されている状態です。(左の画面の場合は、設定 1、設定 2 ともに ON の状態です。)

時間の表示部分を押すと、時間設定画面が表示されます。

5. 認証中止を開始する時間と終了する時間を、▲▼のキーで設定し、[決定] を押します。

※23:00 - 07:00 のように、日付をまたぐ設定はできません。

6. 前の画面に戻り、設定した時間が反映されます。
設定を確定する場合は、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、運用設定メニューに戻ります。

7.2 時計を表示させる

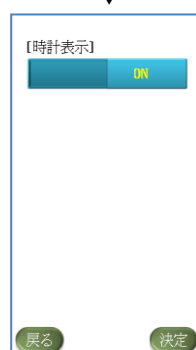
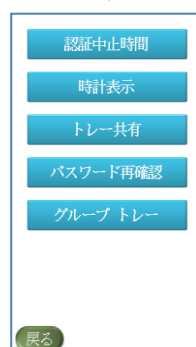
タッチパネルの上部に時計を表示させることができます。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。



2. 「運用設定」を選択します。

運用設定メニューが表示されます。

3. 「時計表示」を選択します。

4. 時計を表示したいときは「ON」、表示させないときは、「OFF」が表示されている状態にして [決定] を押します。

表示されているものが、現在設定されている状態です。(左の画面の場合は、ONの状態です。)

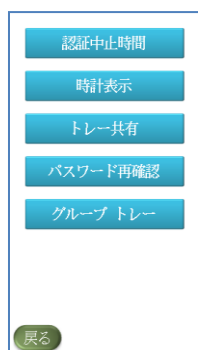
設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、運用設定メニューに戻ります。

7.3 パスワードの再確認の有無を設定する

パスワードを登録するときの再確認の有無を設定します。

なお、初期設定では、パスワードを再確認しない設定になっています。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「運用設定」を選択します。

運用設定メニューが表示されます。

3. 「パスワード再確認」を選択します。

4. 再確認をさせるときは、「ON」、再確認をさせないときは、「OFF」が表示されている状態にして [決定] を押します。

表示されているものが、現在設定されている状態です。(左の画面の場合は、ON の状態です。)

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、運用設定メニューに戻ります。

7.4 時計を変更する

セキュリティトレー本体に設定されている時間を変更します。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。

3. 「時計設定」を選択します。

4. 時計設定メニューが表示されます。

一番上に表示されているのが現在設定されている時刻です。

上段 : 年、月、日

下段 : 時、分、秒の表示です。

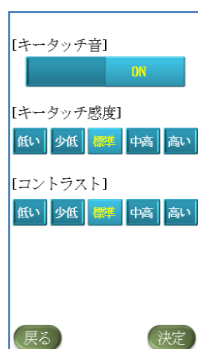
▲▼を押して現在時刻に変更し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、装置設定メニューに戻ります。

7.5 タッチパネルを設定する

タッチパネルのキータッチ音、キータッチ感度、コントラストの設定を変更できます。
 なお、初期設定は、《キータッチ音：ON キータッチ感度：標準 コントラスト：標準》となっています。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。

3. 「タッチパネル設定」を選択します。

タッチパネル設定メニューが表示されます。

4. キータッチ音、キータッチ感度、コントラストを変更したい項目を選択し、[決定] を押します。

文字が黄色くなっているものが、現在選択されている設定です。（左の画面の場合、キータッチ音 : ON

キータッチ感度 : 標準

コントラスト : 標準)

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、装置設定メニューに戻ります。

7.6 各操作のタイマーを設定する

タッチパネルや自動ロック等、一定時間利用しなかった場合等にスリープになるまでの時間の設定を変更できます。

7.6.1 共通操作

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「装置設定」を選択します。

装置設定メニューが表示されます。

3. 「タイマー設定」を選択します。

タイマー設定メニューが表示されます。



4. 設定したい項目を次の中から選択します。

選択後の操作については、7.6.2 以降の説明を参照してください。

7.6.2 メッセージ表示時間の設定

タッチパネル画面にメッセージが表示される秒数を 1 秒～999 秒の範囲内で設定できます。
 なお、初期設定では、2 秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「メッセージ表示」を選択します。

メッセージ表示メニューが表示されます。



2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.3 認証前の未操作タイマーの設定

ID やパスワードの入力画面や、ID を入力した後に IC カードをかざすまでの待機時間を 0 秒～999 秒の範囲内で設定できます。認証前に未操作の状態を設定した時間が経過すると、アラーム音（ピッ）が鳴り、待機画面に戻ります。（※0 秒に設定した場合は、[戻る] を押さない限り待機画面に戻りません。）

なお、初期設定では、30 秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「未操作（認証前）」を選択します。

未操作（認証前）メニューが表示されます。

2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

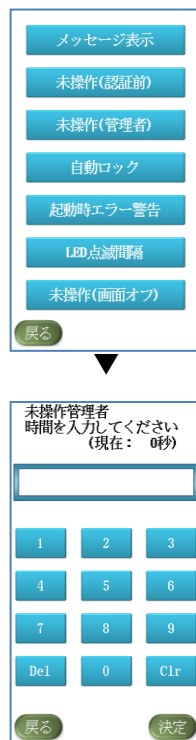
設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.4 管理者メニューの未操作タイマーの設定

管理者として認証し、管理者メニュー以降の画面での未操作の待機時間を 0 秒～999 秒の範囲内で設定できます。管理者メニュー画面のまま未操作の状態を設定した時間が経過すると、アラーム音（ピップ）が鳴り、待機画面に戻ります。（※0 秒に設定した場合は、[戻る] を押さない限り待機画面に戻りません。）

なお、初期設定では、60 秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「未操作（管理者）」を選択します。

未操作（管理者）メニューが表示されます。

2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.5 トレーの自動ロックタイマーの設定

ユーザーが認証してトレーが開錠された状態で、自動的にロックがかかるまでの時間を0秒～999秒の範囲内で設定できます。(※0秒に設定した場合は、LEDが点灯しているすべてのトレーを引き出して閉めるか、タッチパネル画面上の「終了」を押さない限り待機画面には戻りません。)

なお、初期設定では、10秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「自動ロック」を選択します。

自動ロックメニューが表示されます。

2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.6 起動時エラー警告の時間の設定

起動時にエラーになった場合のエラー警告音を鳴らす秒数の設定を 1~999 秒の範囲で変更できます。
なお、初期設定では、60 秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「起動時エラー警告」を選択します。

起動時エラー警告メニューが表示されます。

2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

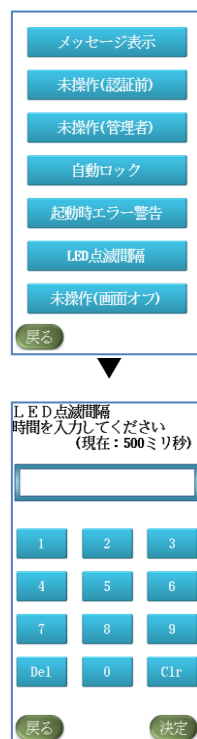
設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.7 トレー異常の際の LED 点滅間隔の設定

トレーの開けっ放し等、異常が生じた場合、異常なトレーの LED が点滅をします。その際の LED の点滅の間隔を 0 秒～999 ミリ秒の範囲内で設定できます。

なお、初期設定では、500 ミリ秒が設定されています。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「LED 点滅間隔」を選択します。

LED 点滅間隔メニューが表示されます。

2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

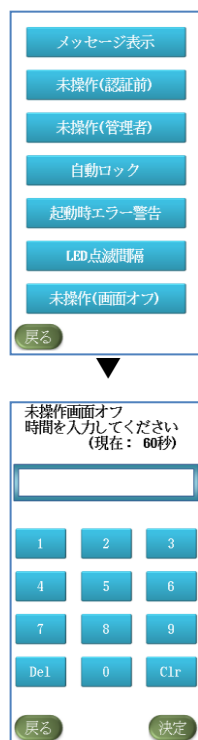
設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.6.8 待機画面状態での画面オフタイマーの設定

待機画面の状態では操作が行われなかった場合に自動的にタッチパネルのバックライトが消灯し、画面がオフになるまでの時間を0秒～999秒の範囲内で設定できます。(※0秒に設定した場合は、タッチパネルの画面はオフになりません。ただし、長時間画面がオフにならないままにしておくと、画面が焼き付いてしまうので、0秒に設定するのは控えてください)

なお、初期設定では、60秒が設定されています。
オフの状態の画面は、画面のどこかにタッチすると起動されます。

<タッチパネル画面表示>



1. タイマー設定メニューで、「未操作（画面オフ）」を選択します。

未操作（画面オフ）メニューが表示されます。

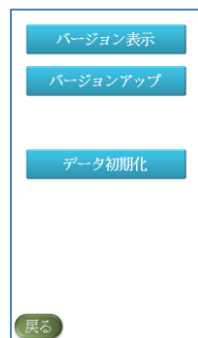
2. 設定したい秒数を入力し、[決定] を押します。

設定が完了すると、設定完了のメッセージが表示され、タイマー設定メニューに戻ります。

7.7 バージョン情報を表示する

セキュリティトレイのバージョン情報を表示します。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ソフトウェア」を選択します。

ソフトウェアメニューが表示されます。

3. 「バージョン表示」を選択すると、現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

バージョンを確認した後、[確認] を押すと、ソフトウェアメニューに戻ります。

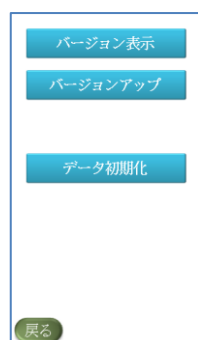
ソフトウェアメニューから [戻る] を押すと、管理者メニューに戻ります。

7.8 バージョンアップする

セキュリティトレーをバージョンアップします。バージョンアップ用のソフトウェアを準備し、USB メモリ上の直下に格納してください。最新のソフトウェアは、弊社ウェブページからダウンロードできます。なお、ファイル名は変更しないでください。

URL : <http://www.lion-jimuki.co.jp/download/>

<タッチパネル画面表示>



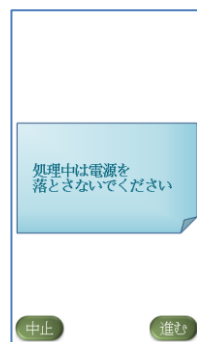
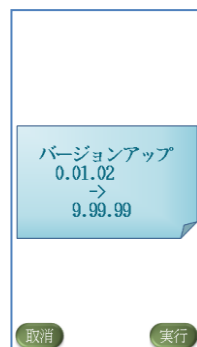
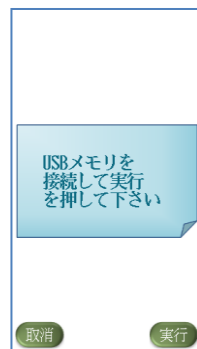
1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ソフトウェア」を選択します。

ソフトウェアメニューが表示されます。

3. 「バージョンアップ」を選択すると、USB メモリ接続画面が表示されます。



4. USBメモリを差して [実行] を押します。
バージョンアップ画面が表示されます。



5. USBメモリを認識すると、確認画面が表示されますので、[実行] を押します。

USBメモリを認識できないときは、エラーメッセージが表示されます。[取消] を押し、USBメモリを抜いて、USBメモリが破損していないか確認してください。

6. 実行が開始されたら、メッセージが表示されます。問題がなければ [進む] を押します。
操作を中止するときは、[中止] を押します。

7. バージョンアップが終了すると、バージョンアップ終了のメッセージが表示されます。

[確認] を押すと、再起動しますか？というメッセージが表示されます。

[実行] を押すと、自動的に再起動が始まります。

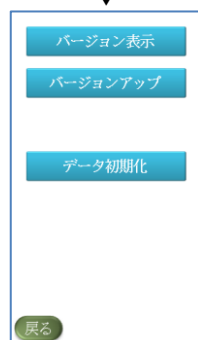
※実行しなかった場合は、電源スイッチを ON / OFF して、装置を再起動してください。

再起動が完了すると、待機画面が表示されます。

7.9 初期化

セキュリティトレイの初期化を行うことができます。設定、ユーザデータ、履歴など装置内の全てのデータが消えるので、初期化を行う際は注意してください。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

2. 「ソフトウェア」を選択します。

ソフトウェアメニューが表示されます。

3. 「バージョンアップ」を選択すると、USB メモリ接続画面が表示されます。

データ初期化パスワード入力画面が表示されます。

初期化用パスワードを入力してください

1 2 3
4 5 6
7 8 9
Del 0 Clr

戻る 並替 決定

初期化します
初期化後に自動で再起動
が実行されます

取消 実行

2016/04/09 15:48:29

▲ ▲ ▲
2016 04 09
▼ ▼ ▼

▲ ▲ ▲
15 48 22
▼ ▼ ▼

戻る 決定

4. 初期化用パスワード「6543210987」を入力し、
[決定] を押します。

5. 初期化を確認するメッセージが表示されます。初期化して
問題がなければ [実行] を押します。

6. 初期化が完了したメッセージが表示され、自動的に再起動
されます。
※自動的に再起動されるまで、電源を落とさないでください。

初期化・再起動が完了すると、時計設定の画面が表示され
ます。導入時の操作（3.4~）から再度運用を開始してくだ
さい。

8 履歴表示

セキュリティトレーの情報を表示するときの操作について説明します。

8.1 履歴データを表示する

セキュリティトレーの操作履歴を表示します。履歴は 10,000 件を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴の表示方法には、次の 2 種類の方法があります。

- 最新の履歴を表示する
- 日時を指定して履歴を表示する

履歴には下記の事象が表示されます。

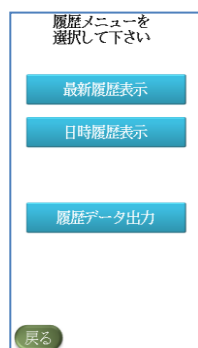
| 履歴名称 | 内容 |
|-------------|---|
| 装置起動 | 装置に電源を入れた |
| 装置終了 | 装置の電源を切った |
| 認証 OK | 管理者またはユーザの認証を行った |
| トレー引き出し | 何番のトレーを引き出した |
| トレー戻し | 何番のトレーを戻した ※非常開錠でトレーを引き出し、戻した場合は、履歴は記録されません。 |
| 自動ロックタイムアウト | トレーを引き出したまま、設定した自動ロック時間が経過し、アラームが鳴った |
| 全トレーロック解除 | 管理者が全トレーロック解除を行った |
| 個別トレーロック解除 | 管理者が個別トレーロック解除を行った |
| 遠隔トレーロック解除 | 管理者が管理プログラムで遠隔トレーロック解除を行った |
| ユーザデータ表示 | 本体タッチパネル上でユーザデータ表示を行った |
| ユーザデータ登録 | 本体タッチパネル上でユーザデータ登録を行った |
| ユーザデバイス変更 | 本体タッチパネル上で、ユーザの使用カードの変更を行った |
| ユーザパスワード変更 | 本体でユーザデータの変更から、パスワードの変更を行った |
| ユーザトレー変更 | 本体でユーザデータの変更から、引き出せるトレーの変更を行った |
| ユーザデータ削除 | 本体でユーザデータの削除を行った |
| ユーザデータ一括登録 | ユーザデータの一括登録を行った |
| 本登録 | 仮ユーザの登録を行った後、本体で本登録を行った |
| ユーザデータ退避 | 本体でユーザデータの退避を行った |
| ユーザデータ復旧 | 本体でユーザデータの復旧を行った |
| 履歴表示 | 本体タッチパネル上で履歴表示を行った |
| 履歴出力 | 本体で履歴データ出力を行った |
| 時計設定 | 本体で時計設定の画面を表示した |
| 時計設定完了 | 時計設定を完了した |
| 装置 ID 設定 | 本体で装置 ID の設定または変更を行った |
| トレーマスク設定 | 本体でトレーマスク設定を行った |

| | |
|-------------|---|
| キータッチ音設定 | 本体でキータッチ音の ON/OFF の設定を行った |
| メッセージ時間設定 | 本体でメッセージ表示の時間設定を行った |
| 未操作認証前時間設定 | 本体で未操作（認証前）タイマーの時間設定を行った |
| 未操作管理者時間設定 | 本体で未操作（管理者）タイマーの時間設定を行った |
| 自動ロック時間設定 | 本体でトレーの自動ロック時間設定を行った |
| 起動時エラー設定 | 本体で起動時エラー警告時間の設定を行った |
| LED 点滅間隔設定 | 本体で LED 点滅間隔の設定を行った。 |
| ネットワーク設定 | 本体のネットワーク設定を行った |
| 認証中止時間 1 設定 | 認証中止時間 1 の設定または解除（OFF）を行った |
| 認証中止時間 2 設定 | 認証中止時間 2 の設定または解除（OFF）を行った |
| 時計表示設定 | 時計表示の ON/OFF の設定を行った |
| トレー共有設定 | 本体でトレー共有の ON/OFF の設定を行った |
| パスワード再確認設定 | 本体でパスワード再確認の ON/OFF の設定を行った |
| グループトレー設定, | 本体でグループトレーの設定を行った |
| ソレノイドテスト | 本体のテスト操作でソレノイドテストを行った |
| センサテスト | 本体のテスト操作でセンサテストを行った |
| LED テスト | 本体のテスト操作で LED テストを行った |
| LCD テスト | 本体のテスト操作で LCD テストを行った |
| ブザーテスト | 本体のテスト操作でブザーテストを行った |
| カードリーダーテスト | 本体のテスト操作でカードリーダーテストを行った |
| イニシャルテスト | 本体のテスト操作でイニシャルテストを行った |
| 動作テスト | 本体のテスト操作で動作テストを行った |
| バージョン表示 | 本体タッチパネル上でバージョン表示を行った |
| バージョンアップ | USB を使用して本体のバージョンアップを行った |
| データ初期化 | 本体の初期化を行った |
| 遠隔設定 | 管理プログラムを使用して、ネットワーク接続をし、遠隔操作でユーザ登録や設定等の変更を行った |
| 不明コード | 不正記録データが発生したとき |

※履歴名称の後ろにつくカッコ内に表示されているのは、対象のトレー番号や、データの件数です。

8.1.1 共通操作

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。

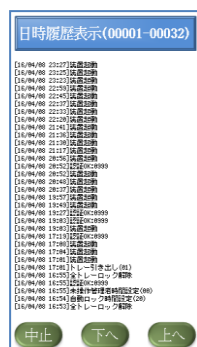
2. 「履歴データ」を選択します。

履歴メニューが表示されます。

3. 履歴の表示方法を次の中から選択します。

- 最新履歴表示
最新の履歴を表示する場合に選択します。
- 日時履歴表示
日時を指定して履歴を表示する場合に選択します。

選択後の操作については、8.1.2 以降の説明を参照してください。



2. 日時指定画面が表示されます。
▲▼を操作して [決定] を押します。
上の段が年、月、日、下の段が、時、分、秒の指定です。
(左の画面の場合、2016年04月08日23時28分52秒)
指定日時より前の履歴が表示されます。

3. 履歴が表示されます。
指定日時より前の履歴を新しい順に上から表示します。
次のページが見たい場合は、[下へ] を押します。
前のページに戻りたい場合は、[上へ] を押します。
[中止] を押すと、履歴メニューに戻ります。

本体に最大 10,000 件保存されていますので、最大 10,000 件見ることができます。

8.2 履歴データを出力する

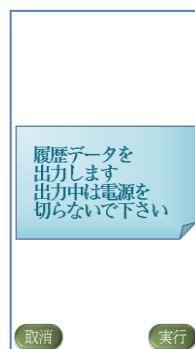
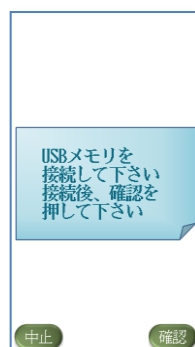
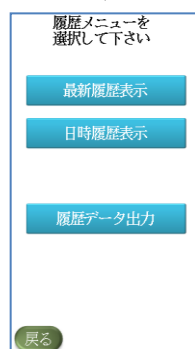
セキュリティトレイの操作履歴を USB メモリに出力します。履歴は、最新の情報順に最大 10,000 件が CSV ファイル (HIST.csv) として出力されます。履歴は 10,000 件を超えると、古いものから自動的に削除されません。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の ID で認証を行います。

管理者メニューが表示されます。



2. 「履歴データ」を選択します。

履歴メニューが表示されます。

3. 「履歴データ出力」を選択すると、USBメモリ接続画面が表示されます。

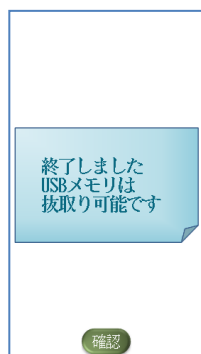
4. USBメモリを差し込んで、[確認] を押します。



5. USBメモリを認識すると、確認画面が表示されますので、[実行] を押します。

※USBメモリ内に前回出力したファイルが残っている場合は、上書きされますのでご注意ください。

USBメモリを認識できないときは、エラーメッセージが表示されます。[取消] を押し、USBメモリを抜いて、USBメモリが破損していないかを確認してください。



6. 履歴の出力が終了すると、終了のメッセージが表示されます。

[確認] を押すと、履歴メニューに戻ります。

USB メモリを抜き取り、パソコンで履歴を閲覧してください。HIST.CSV という名前のファイルが USB メモリ内に保存されています。

付録

カードの認証テスト

このテストでは、カード認証部が適切に作動しているかどうかを確認できます。

<タッチパネル画面表示>



1. 待機画面で、管理者の認証を行います。

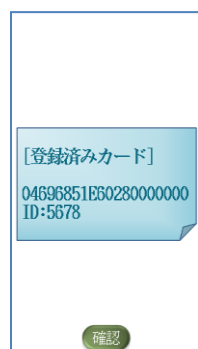
管理者メニューが表示されます。

2. 「テスト」を選択します。

テストメニューが表示されます。

3. 「カードリーダ」を選択します。

カードかざし画面が表示されます。



4. カードをカードリーダにかざします。



5. カードが正常に認識されると、カード情報が表示されます。

カードが正常に認識されないときは、カードかざし画面のまま表示は変わりません。また、エラーが発生したときはエラーメッセージが表示されます。

別のカードをテストするときは、[確認] を押すとカードかざし画面に戻ります。

操作を中止するときは、カードをかざす画面から [戻る] を押すとテストメニューに戻ります。

停電時のトレーのロックの解除方法

停電時は、次の方法でトレーのロックを解除できます。



1. 背面カバーの鍵を開けます。

⚠注意

背面カバーを開く際には電源スイッチを OFF にして電源ケーブルを抜いてから行ってください。

復電した場合、電源の高電圧に触れて感電の原因となります。

2. 背面カバーを取り外します。

背面カバーを 10cm 程度傾けたあと、上に持ち上げると取り外せます。

⚠注意

背面カバーには、アース線が接続されているので、接続のコネクタ等が外れないように注意してください。

⚠注意

背面カバーを持ち上げるときは、必ず両手で持ち上げてください。片手で持ち上げると背面カバーが落下し、けがの原因となるおそれがあります。

3. ロックを解除したいトレーのある列の解除レバーを上を上げながら、トレーを引き出します。

⚠注意

解除レバーを操作するときは、装置内の基盤に触れないようにしてください。

装置の故障の原因となるおそれがあります。

エラーコードとその対処

LCDに「エラーガハッセイシマシタ」というメッセージが表示されたときは、2行目に表示されるエラーコードを次の表から探して必要な対処をしてください。対処を実施しても同じメッセージが表示されたときや、この表に記載されていないエラーコードが表示されたときは、弊社またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

履歴の操作時に発生するエラー

| エラーコード | 原因 | 対処 |
|------------|----------|---|
| 03200-9000 | メモリ確保エラー | 操作を再度行ってください。操作を再度行ってもエラーが発生するときは、装置を再起動してください。 |

テスト時に発生するエラー

| エラーコード | 原因 | 対処 |
|------------|-----------------|---|
| 06800-1010 | 認証デバイスが接続されていない | 操作を再度行ってください。操作を再度行ってもエラーが発生するときは、装置を再起動してください。 |
| 06803-1020 | トレーのロックが解除されている | トレーをロックしてから操作を再度行ってください。 |
| 06803-1030 | トレーが引き出されている | トレーを戻してから操作を再度行ってください。 |

バージョンアップ時に発生するエラー

| エラーコード | 原因 | 対処 |
|------------|--------------|---|
| 07205-9013 | ソフトウェアのコピー失敗 | 操作を再度行ってください。操作を再度行ってもエラーが発生するときは、装置を再起動してください。 |

故障かな？と思ったら

セキュリティトレーをご使用中に故障と思われる現象が発生した場合は、次の内容を確認してください。現象が改善されない場合や、頻繁に発生する場合は、弊社またはお買い求めの販売店までお問い合わせください。

警告

お客様による装置の分解や修理、改造は絶対に行わないでください。
感電や火災の原因となります。
また、装置の故障、破損の原因となります。

| 現象 | 確認内容 | 参考箇所 |
|--------------------------------|---|------------|
| 電源が入らない | 電源ケーブルが装置に接続されているか確認してください。 | 3.2 (p 10) |
| | 装置の電源スイッチが ON になっていることを確認してください。 | 3.3 (p 11) |
| | 電源ケーブルを接続しているコンセントに、電源が供給されているか確認してください。 | |
| 何も表示されない | 電源が入っているか確認してください。 | 3.3 (p 11) |
| | 電源スイッチを ON / OFF してください。 | 3.3 (p 11) |
| ユーザ認証ができない | 入力したユーザIDやパスワードに誤りがないか確認してください。 | 5.3 (p 34) |
| | 認証用に登録したカードを使用しているか確認してください。 | 5.3 (p 34) |
| | ユーザ認証の中止時間でないか確認してください。 | 7.1 (p 49) |
| | カードリーダのテストを行ってください。 | 付録 (p 75) |
| | 電源スイッチを ON / OFF してください。 | 3.3 (p 11) |
| トレーが引き出せない | ユーザ認証されているか確認してください。 | 4.2 (p17) |
| トレーが引き出せない | ユーザにトレーが割り当てられているか確認してください。 | 5.3 (p 34) |
| | トレーが利用停止中でないか確認してください。 | 6.2 (p 47) |
| | トレーのロックを解除してください。 | 6.1 (p 45) |
| | 電源スイッチを ON / OFF してください。 | 3.3 (p 11) |
| 履歴データを出力できない | USB メモリに十分な空き領域があるか確認してください。 | - |
| | USB メモリが破損していないか確認してください。 | |
| | USB メモリの書き込み防止のロックが掛かっていないか確認してください。 | |
| エラー警告音が鳴り、異常が発生した旨のメッセージが表示された | トレーが開けっ放しになっている場合、トレーを戻してください。 | - |
| | 管理者のユーザ ID でユーザ認証してください。エラー警告音 (♪ブー") が止まります。 LED が点滅しているトレーをマスクして利用停止にすることで、このまま利用を継続することもできます。 | |

日常のお手入れについて

清掃時の注意事項

- 清掃時には、必ず装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 清掃時にはベンゼンやシンナーなどは絶対に使用しないでください。
- LCD は濡らさないでください。

清掃方法

- 柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどい箇所は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。汚れを拭き取ったあとは、柔らかい乾いた布で水気を拭き取ってください。

製品の保証について

■保証書

必ず「販売店名」「お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みの上大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

■保証登録

保証書裏面に記載されている保証登録は、お買い上げ後速やかにご登録ください。

■修理を依頼されるとき

ご使用中、装置に異常が生じた場合はもう一度この取扱説明書をお読みいただき、それでも故障と思われる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

保証期間中：

保証書の規定に従って修理させていただきますので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間が過ぎているとき：

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。

製品仕様

| 項目 | 説明 |
|------------|---|
| ●寸法 | 本体（外寸）：幅 612mm × 奥行 320mm × 高さ 500mm トレイ（内寸）：幅 86mm × 奥行 200mm × 高さ 60mm |
| ●重量 | 約 35Kg |
| ●トレイ数 | 5 列 6 段 30 トレイ |
| ●液晶タッチパネル | 感圧式 4.3 インチカラー |
| ●電源 | AC100V 50Hz / 60Hz 1A |
| ●環境仕様 | 温度 5～40℃ / 湿度 20%～80%（但し結露無きこと） |
| ●認証デバイス | FeliCa および MIFARE |
| ●登録ユーザ件数 | 3,000 件 |
| ●履歴件数 | 本体に 10,000 件蓄積（USB メモリまたは、ネットワーク経由にて外部出力） |
| ●インターフェース | 正面：USB（A タイプ） 右側面：LAN(10/100Base) |
| ●セキュリティホール | パソコン持出防止ロックが取り付け可能 |

- この製品を譲渡、または貸し出しされる場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記のフリーダイヤルまでご連絡ください。

お客様相談室 フリーダイヤル

TEL ☎ 0120-074416

FAX ☎ 0120-402539

お問い合わせは土日祝日を除く午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。



本社 〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-11

TEL.03-3369-1111